



2026年2月13日

各 位

会社名 株式会社ニチリン  
代表者名 代表取締役  
社長執行役員 曽我浩之  
(コード番号 5184 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役専務執行役員 難波宏成  
TEL (079) 252-4151

## 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ

当社は2026年2月13日の取締役会において、2024年2月14日に公表した「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」の進捗状況を検証し、現状評価と課題認識を整理いたしました。そのうえで、2026年度から開始する中期経営計画「NICHIRIN Flow Engineering Challenge 2030」における新たな対応方針を決議しましたのでお知らせします。

### 1. 現状評価（2021年-2025年）

当社は、これまで事業の堅実性、財務健全性、規模よりも質を重視した経営を進めてまいりました。

中期経営計画(2021年～2025年)では、「成長分野の強化・拡大と新たな事業の創造によるグローバルでの利益体質強化」、「グローバル人材の確保と育成」、「Resilience（復元力）の強化と新しい社会への貢献」の3つの全体戦略を掲げ、それに沿った具体的な「重点施策」を確実に遂行し、「新たな価値と多様性を兼ね備えた持続可能な成長」に向け挑戦いたしました。

こうした取り組みの結果、業績は安定成長を維持し、資本政策として自己株式取得や配当方針の見直しなども実施してきました。その成果として、株価指標であるPBRは、2022年の0.53倍から改善し、2023年以降は0.8倍超の水準で推移しております。

しかしながら、依然としてPBRは1倍には到達しておらず、市場からの評価は十分とは言えません。当社グループの成長性や経営戦略の具体性について、株主・投資家のみなさまに十分に伝わり切れていないことが、市場での株価評価を抑制している主因であると認識しております。

これらの課題を明確化し、資本コストを意識した経営へさらに踏み込むことが、企業価値向上に不可欠であると判断しております。

### 1) 2025年度の経営成績評価（計画に対する実績評価）

項目 (連結)	単位	2022/12期 実績	2023/12期 実績	2024/12期 実績	2025/12期 (計画)※1	2025/12期 (実績)	2025/12期 評価 ※2
売上高	百万円	64,172	70,631	71,356	73,600	73,668	◎
営業利益	百万円	7,678	9,620	9,184	9,100	9,060	△
経常利益	百万円	8,452	10,548	10,382	8,600	9,230	○
当期純利益	百万円	4,578	5,915	6,171	5,000	5,514	○
営業利益率	%	12.0	13.6	12.9	12.4	12.3	△
ROE	%	10.5	12.1	11.4	10.0	9.4	△
PBR	倍	0.53	0.86	0.80	1.0	0.81	×
配当性向	%	27.7	34.6	38.1	40.0	42.1	○
1株当たり純資産	円	3,303.52	3,822.63	4,310.51	—	4,574.63	—
期末株価	円	1,777.00	3,270.00	3,445.00	—	3,695.00	—

※1 2025/8/8公表 業績予想修正後の計画値

※2 評価：◎…過去最高、○…計画達成、△…計画を概ね達成、×…計画未達

## 2) 2025年度の成長戦略 収益性の向上に向けた取組み

取り組み事項	指標	計画	実績
1. EV化に適応した製品開発と拡販 (EVメーカーへの拡販)	売上高	18億円	20.1億円
2. グループ連携による事業領域の拡大 (欧米プレミアム2輪)	売上高	10億円	10.2億円
3. SDGsに配慮した省エネ設備の導入 (使用量/コスト削減)	削減額	1億円	0.9億円
4. 人的資本経営の推移と多様な人材活用(主要部門)	外国人比率	15%	15%

## 3) 人的資本経営に関する取り組み

- ・資格手当の充実 (英語、業務に有意な資格を大幅に拡充)
- ・研修の実施 (間接部門業務改善スキル向上／英語力向上学習プログラム／ハラスマント防止／人権／女性の健康課題セミナー／海外リスクマネジメントセミナー)
- ・2026年新卒採用活動 (多様性の観点から外国人、女性比率を考慮して採用活動)
- ・健康経営推進体制拡充 (健康経営推進委員会、心と身体の健康専門委員会および健康経営推進グループの新設)、禁煙ロードマップ作成、GLTD (団体長期障害所得補償保険) 制度の導入、2025年健康経営優良法人認定

## 4) サステナビリティに関する取り組み

- ・気候変動リスクと機会および人的資本に関する戦略目標などを有価証券報告書に掲載
- ・再エネ由来電力や太陽光発電の導入などによるGHG排出量削減推進
- ・気候変動イニシアティブなどへの賛同
- ・サステナビリティレポート、ESGデータブックなどのホームページ上での公開
- ・ニチリングループ全体の2024年度GHG排出量 スコープ1および2の第三者認証取得とスコープ3の算出
- ・2025年度CDP評価において、気候変動はB、水資源保護はA-を獲得
- ・EcoVadisにおいて、2025年度コミットメントバッジを取得
- ・閉鎖型循環式陸上養殖設備および加工設備の開発・実証実験【とと姫さんプロジェクト】開始

## 5) 株主・投資家の皆様との対話状況

株主投資家の対話	2024年	2025年	開催について
株主への決算説明会開催	1回	1回	株主総会終了後 (ホテル日航:株主総会会場)
機関投資家・アナリスト向け決算説明会開催	1回	1回	本決算 (北浜フォーラム)
決算説明資料のホームページ掲載	2回	2回	本決算・中間決算
機関投資家などとのIR面談	30回	27回	ニチリン姫路工場またはWEB面談等

### (主な対話内容)

事業概要 : 製品群の説明、グループ拠点の事業、マーケットシェア、競合、当社の強みと弱み、大株主との関係等

決算状況 : 為替の影響、セグメント毎の売上、営業利益の増減分析説明、業績予想

トピックス : 地域別トピック (米国: M&A/追加関税等、中国: 日系・現地メーカー向け販売動向、アジア・欧州: 市場成長性 /2輪/EV化)、経済情勢・外部環境の変化の影響、中期経営計画、資本コストと市場評価・企業価値

(株主の意見・懸念の経営陣や取締役会に対するフィードバックの実施状況)

取締役会へ3か月に1回株主等の対話の内容を報告

## 6) 2024 年-2025 年(2 年間) キャッシュ・アロケーション (財務戦略・資本政策の強化)

### 2024 年-2025 年 キャッシュ・アロケーション

内容	2024 年 計画額	2025 年 計画額	2024-2025 年 計画累計	2024 年 実績	2025 年 実績	2024-2025 年 実績累計	遂行率
R & D	15.0 億円	15.0 億円	30.0 億円	12.2 億円	13.0 億円	25.2 億円	84.0%
設備投資	50.0 億円	40.0 億円	90.0 億円	42.9 億円	22.2 億円	65.1 億円	72.3%
M&A 投資					25.3 億円	25.3 億円	※1
配当	20.0 億円	20.0 億円	40.0 億円	23.4 億円	23.2 億円	46.6 億円	116.5%
自己株	10.0 億円		10.0 億円	10.1 億円		10.1 億円	101.0%
借入金返済	5.0 億円	2.0 億円	7.0 億円	4.6 億円	2.3 億円	6.9 億円	98.0%
total	100.0 億円	77.0 億円	177.0 億円	93.2 億円	86.0 億円	179.2 億円	101.2%

※1 設備投資計画の一部を M&A 投資で実行しています。

## 2. 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応 (2026 年-2028 年)

中期経営計画 (NICHIRIN Flow Engineering Challenge 2030) では、2030 年に目指すべき姿として、2030 年の経営数値目標を設定した上で、2028 年をマイルストーンとする 2026 年からの「連結経営目標」設定し、財務・資本戦略の重点施策として、ROE10%以上を維持し、PBR1.0 倍以上を目指します。

### 1) 連結経営目標

(単位 : 百万円)

	2026 年	2028 年	2030 年
売上高	78,000	90,000	100,000 以上
営業利益	9,300	10,000	11,000 以上
ROE	10%以上		

※換算レート : USD=150 円、EUR=170 円、CNY= 20 円

### 2) 財務・資本戦略の重点施策

ROE10%以上を維持し、PBR1.0 倍以上

#### 1. 収益性向上と資本最適化

- a. 成長投資と資本コストを上回る収益創出
- b. 成長投資と並行し、以下の株主還元を継続的に実施
  - ・配当性向目標 45%
  - ・2026 年～2028 年の 3 年間で総額 40 億円程度の自己株式の取得枠を設定
- c. 配当の下限を DOE 2.5% に設定

#### 2. IR・コーポレートガバナンスの強化

- a. 資本効率・成長戦略を投資家に分かりやすく説明
- b. 非財務情報 (サステナビリティ・人的資本) を含む開示内容の充実
- c. 取締役会の監督機能強化と資本政策の透明性向上

### 3) 重点施策の具体的な取り組み

取り組み事項	指標	計画
1. 新製品の拡販：新規顧客/EV/樹脂/異種材料接合 (2025 年比 150%)	売上高	45 億円
2. 未開拓市場への事業拡大：外資メーカーへの販売 (2025 年比 140%)	売上高	205 億円
3. SDGs に配慮した活動：スコープ 1, 2 における GHG 排出量の削減 (2022 年比 31.5% 削減)	削減量	20, 230 t
4. 人的資本経営の推移と多様な人材活用 女性従業員採用率 外国人採用率 指定資格取得者 ホワイト 500	採用率 採用率 人数 —	30% 以上 30% 以上 166 人以上 認定

### 4) 2026 年-2028 年(3 年間) キャッシュ・アロケーション

Cash 創出	財務資本戦略	施策詳細	金額
営業 C/F 300 億円	戦略投資 205 億円	R & D 投資	45 億円
		設備投資	135 億円
		取直法の対応	25 億円
	その他投資 15 億円	その他 (投資・株主還元)	15 億円
現預金・借入 50 億円	株主還元 130 億円	配当	90 億円
		自己株取得	40 億円
350 億円	350 億円	合計	350 億円

以上